

ひまわりのたね

平成24年5月号 No.32
(奇数月発行)

ひまわりのたね 編集部
(港区ボランティアビューロー内)

大阪市港区社会福祉協議会 港区ボランティアビューロー 〒552-0007 港区弁天2-15-1 TEL06-6575-1212 FAX06-6575-1025



ひまわりのたねは
あけまして5周年!

ボランティア募集



緊急募集!

① 朗読ボランティア「しおかぜ」メンバー

「あいらぶみなと」(港区社会福祉協議会)や「広報みなと」をテープに吹き込んで視覚障害の方に郵送しています。初めての方も大歓迎!テープの最後には『しおかぜホットライン』でグループお気に入りの記事録音し、皆さんに喜んでいただける工夫をしています。ぜひ一度見学にお越しください。

- ② 毎月第2・3土曜日 13:00~16:00
- ③ 港区在宅サービスセンター ひまわり
- ⑤ 年齢・性別・経験 問わず
- ⑥ 港区ボランティアビューロー

「ボラ☆チャレ2012 ボランティア・市民活動体験」

- ① 夏休みを利用してボランティア活動の魅力を体験できるプログラムです。ボランティアに興味・関心があっても一歩踏み出せないという方、ぜひこの機会に新しい自分を発見しませんか?
- ② 7月1日~9月30日(申込期間は9月21日まで)
※プログラムによって受け入れ可能期間は異なります
- ③ ④ ⑤ 体験施設によって異なる
(150以上の受入施設のほとんどが大阪市内)
- ⑥ 大阪市ボランティア情報センター
【TEL】6575-4041
【HP】<http://www.osakacity-vnet.or.jp>

夏祭りの季節がやってきました!!

- ① デイサービス内での夏祭りです。利用者さんを見守りながら一緒に楽しく過ごしましょう
- ② 8月6日(月)~11日(土)13:30~14:30頃
- ③ デイサービスさくら(波除5-4-7)
- ④ 波除福祉会 デイサービスさくら
- ⑤ 年齢・性別・経験 問わず
- ⑥ 港区ボランティアビューロー

- ①内容 ②活動日時 ③活動場所
- ④依頼者 ⑤募集条件
- ⑥問い合わせ先 ⑦その他
- ※⑥が記載されていないものは
港区ボランティアビューローへ
お問い合わせを
TEL06-6575-1212(担当:荻野)

TEL 06-6575-1212



SSS情報

港区ボランティアビューローに登録しているグループの最後のご紹介です

今までのご紹介であなたが“やってみたい!”とか“どんな活動?”と気になるものがありましたか?
お問い合わせお待ちしております ボランティアビューロー TEL 6575-1212

ひまわりのたね編集部

区民の花「ひまわり」

本誌も5周年になりました

いろいろな立場の人の感想や
情報をこれからも頂いて立派
な花に育てたいと思います



応援!

子育てボランティア講座

区内の親子教室やイベント時の一時保育ボランティアとして活動してみませんか?
年齢・男女問いません。子ども好きな方、子育て中の方も大歓迎、地域で子育てを応援しましょう!

	日 程	講 議 内 容
第 1 回	8月24日(金) 10:30~12:00	「ボランティアってなーに?」 「マリオネット」と活動の話
第 2 回	8月31日(金) 10:30~12:00	「子どもの病気と回復期の過ごし方」 「エプロンシアター」と活動の話
第 3 回	9月6日(木) ※9:30~12:00	AED 救急救命講習会 「子どもの事故防止と応急処置」 ※受講後修了証が発行されます
第 4 回	9月14日(金) 10:30~12:00	「ハンディキャップのある子どもについて」
第 5 回	9月20日(木) 10:30~12:00	「子どもの育ち健康管理」 「子どもの遊びと関わり方」 まとめ

場 所: 第1回~4回 港区在宅サービスセンターひまわり 2階会議室
第5回 港区子ども・子育てプラザ 3階講習室

対 象: 区内の一時保育ボランティアとして活動を希望する方

定 員: 20名(原則として全5回全てに参加できる方で先着順)

受講料: 無 料

申込み: 電話、FAX、メール、来館のいずれか
※一時保育あり(申し込み時にお申し出ください)

問合せ: 港区ボランティアビューロー(荻野)まで
TEL 6575-1212 / FAX 6575-1025
メール minvb@osakacity-vnet.or.jp

ボランティア研修・交流会

ビューローに登録のボランティア活動をされている方々と伊丹市の「NPO法人日本レスキュー協会」に行ってきました。災害時、人命救助に関わるレスキュードッグの見事なデモンストレーションには、その訓練のすばらしさにたくさんの歓声が上がりました。また、セラピードッグ(人の心と体を癒し気力を高める)には、捨てられたり虐待を受けた過去をもつ犬が多いとのことだったが、被災地や福祉施設という新たな居場所が見つかり、いきいきと活躍している姿に胸を打たれました。

参加者からは

- ・雨の中、指導員とドッグが練習の成果を披露してくれている姿に感動した。
- ・セラピードッグは見ていだけで癒され、福祉施設での活躍の映像に感動した。
これからもさまざまな場で活躍してほしいと心から応援しています。
- ・お互いボランティアをしているもの同士、交流・情報交換の良い場であった。

との感想をいただきました。ドッグの活動を学び、その活躍の重要性や寄り添うことの大切さを皆が感じた研修・交流会となりました。



研修の中で映像を見たが、施設の高齢者がセラピードッグを何とも言えない満たされた表情を浮かべて抱きしめていた。ふいに、自分が子どもを抱きしめている感覚を思い出した。抱いているはずの自分が、その温かさ・やわらかさ・はかなさ・息づかいに安心し、癒され、目を閉じていると浅かった呼吸がお腹の底から深い呼吸に満たされ落ち着いていく。ずっとこうしたいと思う…そんな感じた。ドッグとのぬくもりに触れ合っているその瞬間、きっとこんな気持ちなんだろう…。(荻)